



仙台市議会議員 鈴木ひろやす

声をカタチに！
現場に飛び込む行動派！

【発行】鈴木ひろやす事務所 〒981-1105 仙台市太白区西中田7丁目11-21

TEL:022-242-0840 E-mail:suzuki-h@dol.hi-ho.ne.jp

みなさまからの声をお待ちしています



議会報告

9月5日に開会した令和7年第3回定例会が10月8日に閉会しました。開会初日に正副議長の所信表明会が実施され、正副議長選挙で新たな正副議長が決定しました。議長に再登板となる野田議長、副議長に加藤副議長が就任されました。私は同日副議長辞任届を提出し承認され、第65代副議長を2年間務め終了しました。この間、政務活動費に関する検討会議座長を務め、政務活動費に関わる議論を進め手引き書の改訂を行いました。これにより、より透明性を高めた政務活動費の支出と市民への説明責任を果たせるようになりました。

第3回定例会では、令和5年(2023年)4月1日以降の出産から適用になり、国が支給する「出産育児一時金」に市独自に9万円を上乗せ助成する費用など、8億1,589万円を増額する一般会計補正予算など議案21件を可決。また、令和6年度一般会計など決算7件を認定して閉会しました。

令和7年 第3回定例会

決算等審査特別委員会(第3分科会)での質疑(抜粋)

令和4年度から社会実験に取り組んできた、青葉通仙台駅前エリアのあり方について決算年度事業も踏まえて質疑しました。

Q 決算年度のまちなかウォークブル推進に関わる決算額はいくらか？

A 青葉通あり方検討に係る費用として、6,460万円余があります。

Q 決算年度における青葉通駅前エリアの検討成果について伺う。

決算年度における取組としましては、令和4年度に実施した社会実験の効果検証を行い、アーカイブブックとしてとりまとめを行いました。また、まちづくりへの機

A 運醸成を目的とした市民参加型イベントや、オフィスワーカー等との意見交換会、滞在空間のあり方の検討を目的としたワークショップなどの取組みを行い、青葉通駅前エリアのあり方検討協議会において未来ビジョンをとりまとめたところでございます。

Q 今後ケヤキ並木についてどのような議論を進めていくのか伺う。

青葉通のケヤキ並木についてでございますが、例えば委員のお話にありまして、戦災復興の中で植栽されまして、定禅寺通とともに杜の都・仙台のシンボルとなっているところでございまして、また杜の都環境を作る条例に基づき保存樹林に指定されて

A ございまして、多くの市民の皆様にも親しまれているものでございます。今後、市民の方々や周辺事業者の方々も含め青葉通仙台駅前エリアのあり方について検討が進められるということから、その中で、ケヤキの取り扱いについては丁寧に整理していく必要があるものと考えているところでございます。

Q 私が作成した青葉通仙台駅前エリアのパスについて、各局長の所見を伺う。



都市整備局長：私も何年前に(パスを)出されたときに、見て記憶しているところでございまして、このパスを見ると、やはり駅前から緑が広がった大きな空間が開放的でございますし、非常に魅力的な空間であると捉えております。また、交通への影響や、仙台駅からの歩行者の回遊性にも配慮されていると感じたところでございます。

ただ一方で、今後検討する立場から言わせていただきますと、ペDESTリアンデッキで全面を覆うとなりますと、1階部分の利用をどうするのかといったところもございまして。そういった課題や、柱をどこに置くのか、どのくらいの距離を飛ばせるのかといった技術的な課題もありますし、先ほど地下埋設のガス・水道ですとか通信とか様々なお話がありましたけれども、そういったものとの関連性なども考えなければなりません。また、先ほどのとおり歩道部分にはケヤキ並木もございまして。こういったものの取り扱いを実際どうしていくのかといったところも検討していかなければなりません。解決すべき課題も多いと、感じたところでございます。

今後、駅前にふさわしい賑わいのあり方ですとか、どんな機能がいいのか、あわせて空間はどうあるべきかといったことの考え方も加えまして、様々なご議論がありましたように、交通処理あるいは回遊性といった課題につきましても整理したうえで、道路空間の整備形状を今後検討してまいりたいと考えてございます。



政務活動ダイジェスト

1 8月24日 センダイガールズプロレスリング(仙女)の仙台大会が、リニューアルオープンしたゼビオアリーナ仙台で開催され過去最大キャパシティとなる3,920人の観客が集まりました。スポーツ市議の会の皆さんも試合を応援。本市スポーツ施策を今後更に進めてまいります。



2 9月2日 第60回仙台市社会福祉大会がトークネットホール仙台(仙台市民会館)で開催されました。地域の社会福祉向上に功績があった方々を表彰。これからも地域福祉向上に地域住民・福祉関係者の皆さまと取り組んでまいります。



3 9月8日 第65代副議長としての任期を終えて、第66代副議長へ事務引継をさせていただきました。貴重な2年間の経験と議事運営、改革にあたらせていただき感謝です。引き続き市政発展に取り組んでいきます。



4 9月14日 太白消防団特別点検が開催されました。昼夜を分かたず地域の防災に寄与していただいている消防団員の訓練成果が披露されました。



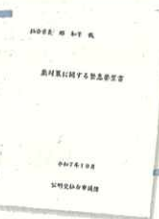
5 9月15日 昨年JR南仙台駅前で開業100周年を記念して開催された「みなせんフェスタ」第二回は中田中央公園で開催され、地域の皆さまが多く参加。ポテンシャルがあるこの地域をこれからも発展できるよう取り組んでまいります。



6 9月19日 秋の全国交通安全運動出動式が、太白区役所とSDGs等に関する連携協定を締結している、ヤマダデンキあすと長町店駐車場にて行われました。9月30日までの期間中県内では2件の事故が発生しました。



7 10月8日 栗原市内においてキノコ採りの最中にクマによる襲撃を受け、75歳の女性が死亡するという痛ましい事案が発生。近年、宮城県内各地でクマの出没・人身被害が相次いでおります。市民の安心・安全の確保は急務になっていることから、公明党仙台市議団として市長に緊急要望を提出しました。



市政情報ハイライト

～ 現場の声を市政へ～

《耳で聴くハザードマップ》(Uni-Voice Blind)

「耳で聴くハザードマップ」は、お手持ちのスマートフォンやタブレットを活用して、災害リスクや周辺の避難場所等の情報を画面や音声で確認できるサービスです。多言語にも対応しているため、外国からお越しの方やそれ以外の方にも便利なアプリです。ご自宅や学校、勤務先などの災害リスクを事前に確認し、いざという時に備えましょう。以下の各情報について、画面表示のほか、音声で読み上げることができます。

- 1 現在地の気象情報(天気予報、気象警報・注意報など)
- 2 現在地とその周辺の洪水、土砂災害、高潮※、津波に関する災害リスク情報(想定される浸水の深さや土砂災害のおそれのある箇所など)
- 3 アプリ内で事前に登録した区に対して仙台市から発令する避難情報(プッシュ通知)
- 4 現在地からそれぞれの災害に対応する最寄りの避難場所への案内
(災害時にはナビゲーションする避難経路が安全でない可能性があるため、平時に避難場所を確認する目的でご利用ください)
- 5 各情報の多言語での表示および音声読み上げ(英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語、ベトナム語、ネパール語)



《感震ブレーカー器具購入支援》

宮城県第5次地震被害想定調査を受けて、令和7年3月に策定した仙台震災対策アクションプランに基づき、長町一利府線断層帯地震等による地震火災の被害を軽減するため、感震ブレーカーの購入費用等を支援する仙台市の取組みです。令和7年度は、一世帯当たり3,300円の範囲内で支援。6,500世帯(対象世帯の約10%相当)を上限に購入費用を支援します。すでに対象地域の皆さまにはご案内が郵送されています。



申請受付期間(令和7年9/30～令和8年1/9)
感震ブレーカー受付窓口: TEL 0120-763-837